

“いつやるか？ 今でしょ！”という言葉は、東進ハイスクールの現代文の講師である林 修氏の言葉です。テレビのCMで初めて見た時、私は“そのとおり”と心のなかで静かに叫びました。なぜなら、“今すぐやる”という方針は10年ほど前から私が常に心掛けてきたものと全く同じであったからです。昔の私は仕事が遅いことに悩んでいました。しかし、ある本との出会いが、私のこれまでの習慣を大きく変えてくれました。その本とは、2001年に出版された『なぜか、「仕事がうまくいく人」の習慣』（ケリー・グリーンソン著、PHP 研究所）です。この本は出張に向かう金沢駅の売店で偶然見かけて購入し、電車の中で一気に読破しました。目的地に着くころには、私の考え方が大きく変わっていました。それ以来、この本は、仕事への意欲が落ちたなど感じたら繰り返し読みます。すると、“よし、がんばろう”という気持ちにさせてくれます。

この本の第1章は“すぐにやる！”です。
①書類、メールは「すぐに」処理する、②仕事の「先のぼし」癖を退治する八つの鉄則、③仕事の習慣を見直し、決断力をもって習慣

を変える、などの見出しがならんでいます。私はこの本に書いてあることを忠実に実行するように努めました。特にメールは1回読んだら即返事を出すようにしました。メールを出して、すぐに返事が返ってきたら非常にうれしいと感じます。また、この人に仕事を依頼しようという気持ちになります。実際私は、メールの返事をすぐに出すように習慣を変えただけで、他の仕事もいつのまにか早くやる癖がついてしまいました。

仕事をせずにとめていると、意識は業務がたまった過去に向いていますが、さっとかたづければ、意識を現在から未来に向けることができます。意識が未来に向いているという感覚は非常に気持ちがいいものです。この気持ちをもちつづけて仕事に向き合うだけで、自分のまわりの世界が変わっていくような気がします。

私が、“すとらびすむす”

の原稿を依頼されて最初に思いついたのは、この本の紹介でした。きっと昔の私のように仕事が遅くて、うまくいかない悩んでいる若い先生がいるのではないのでしょうか。この本を読んで、なにごとすぐやる人がたくさん出てくるといいなと思います。

いつやるか？ 今でしょ！



蒲田 敏文

金沢大学大学院医薬保健学総合研究科
経血管診療学(放射線医学)教授